



ことばの花 咲きみだれる 地球へ

今 地球のことばが 危ない!

NPO法人地球ことば村・世界言語博物館

〒153-0043東京都目黒区東山2-9-24

【Tel】03-5798-2828 【Fax】03-3713-9932 【Email】info@chikyukotobamura.org 【HP】http://www.chikyukotobamura.org/

「ことば」は文化の根元—人類の智恵の結晶です。今、地球上には5000以上といわれる「ことば」があると
いわれていますが、そのほとんどは少数話者言語であり、半数は100年以内に消滅するといわれています。
日本語の中でも、アイヌ語や琉球語などの言語、味わい深い方言などが失われつつあります。

ことば村のミッション

ことば村は「ことば」を人類共通の財産と考え、今ここにある「ことばの危機」に市民の関心を喚起して「ことばの多様性」を守ることを目的とし、専門家と市民が協力して活動します。

ことば村の果たす社会貢献

時代は地域文化の振興、地域の主体性回復へ向かっています。ことば村は「ことばの多様性」を守ることを通じて、それぞれの地域・集団が独自の創造性を発揮できる社会、「豊かで活力ある社会」を形成することに貢献します。

●活動の紹介●

1 日本のことば 身近なところから

A. 日本国内のことばの多様性を守る

- 日本国内の少数話者言語・方言への取組
 - アイヌ語や琉球語の現状や復興の取組について、研究者や活動家を招いたシンポジウムの開催、論稿の配付、言語博物館へ言語収蔵など
 - 方言による朗読や寸劇の公開
- 失われつつあることばへの取組
 - ホームページ上の「江戸のことば」連載など

B. 豊かな日本語を次代につたえる

- 小学校英語教育が「ことばの生活を豊かにするもの」となるよう、専門家をまねいての連続フォーラム実施
- 公立小学校児童を対象に、音楽の力を借りてことばの運用能力を高めることを目的に「日本語特別授業—世界で一つの私の歌」実施



2 世界のことば 視野を広げて

- 世界の少数話者言語の危機状況や復興の取組について研究者の講議を聞き、市民の意見を交わす「ことばのサロン」や、より大規模なシンポジウムの実施・論稿配付
- バーチャル言語博物館上に世界の個別言語を順次収蔵
- 市民が世界の言語状況に親しむための小冊子「世界のあいさつ集—あなたに会えて よかった」の発行



活動の将来目標

- ◆バーチャル言語博物館に日本を含む世界の少数話者言語を網羅する。
- ◆若手研究者や言語復興運動の実践家に対する支援を実施(研究・実践発表の場の提供/助成金支給)
- ◆活動の国際化—バーチャル言語博物館の英語化・世界の同趣旨の団体とのネットワークを形成、ことばの文化遺産継承運動を地球規模で展開。
- ◆言語活動の一要素である「文字」に関する活動、世界の美しい文字の展覧会開催・フォントの研究支援など。